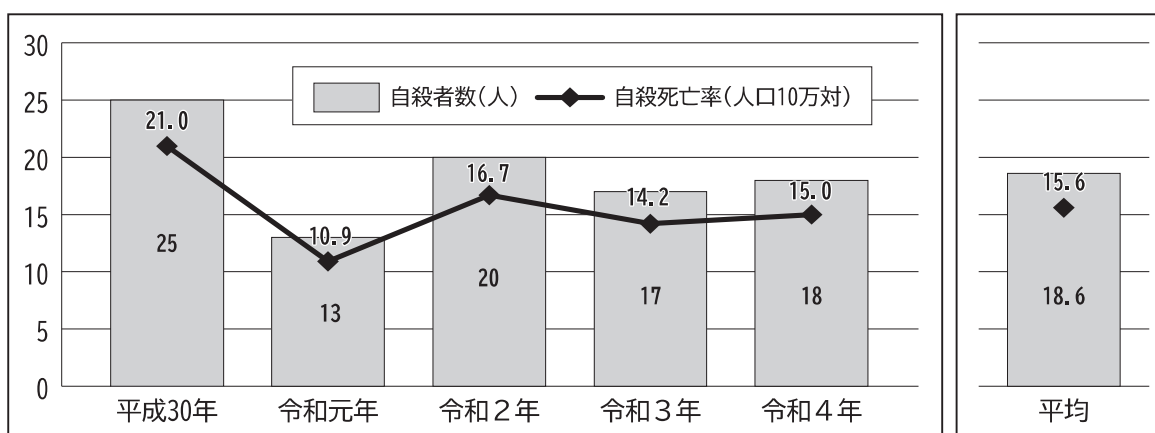


# 第2章 江別市における 自殺の現状と課題

## 1 江別市における自殺者数等の推移

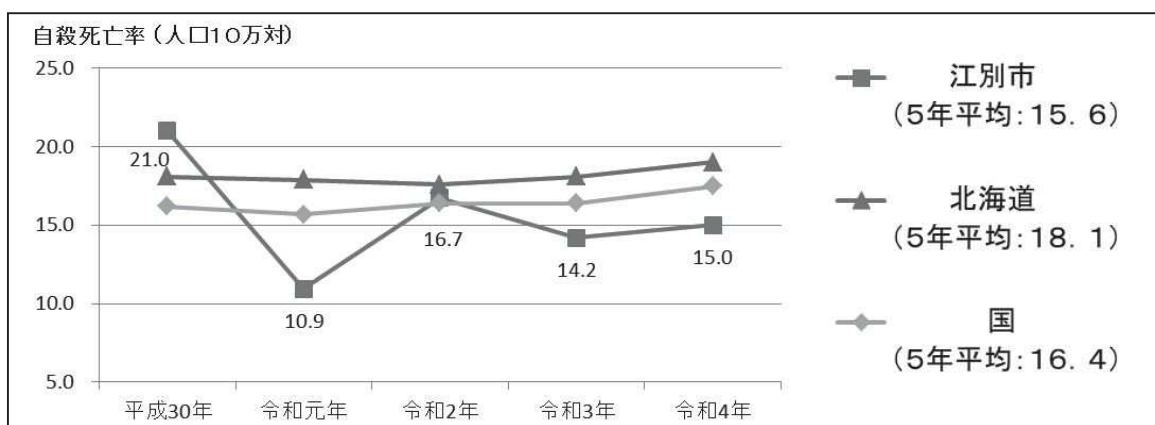
### (1) 江別市における自殺者数及び自殺死亡率の推移



厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」に基づき江別市保健センター作成

江別市の自殺者数は、平成30年から令和4年までの5年平均は18.6人で、毎年20人近くの方が自殺で亡くなっています。

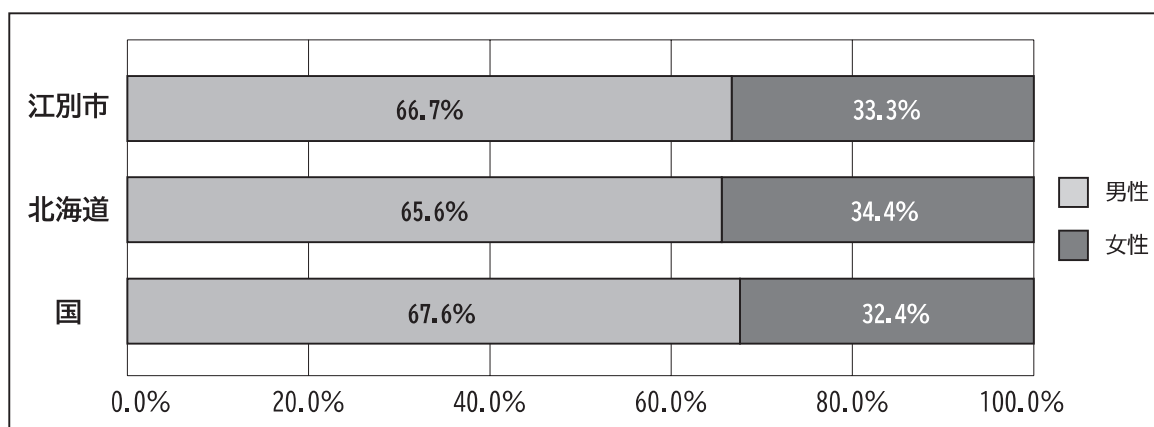
### (2) 自殺死亡率の比較



厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」に基づき江別市保健センター作成

平成30年から令和4年までの5年平均では、江別市は北海道、国よりも自殺死亡率が低くなっています。

### (3) 自殺者の性別による比較 (平成30年から令和4年合計)



厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」に基づき江別市保健センター作成

江別市、北海道、国いずれも男性の割合が約67%、女性の割合が約33%であり、男女比による特徴は特にみられません。

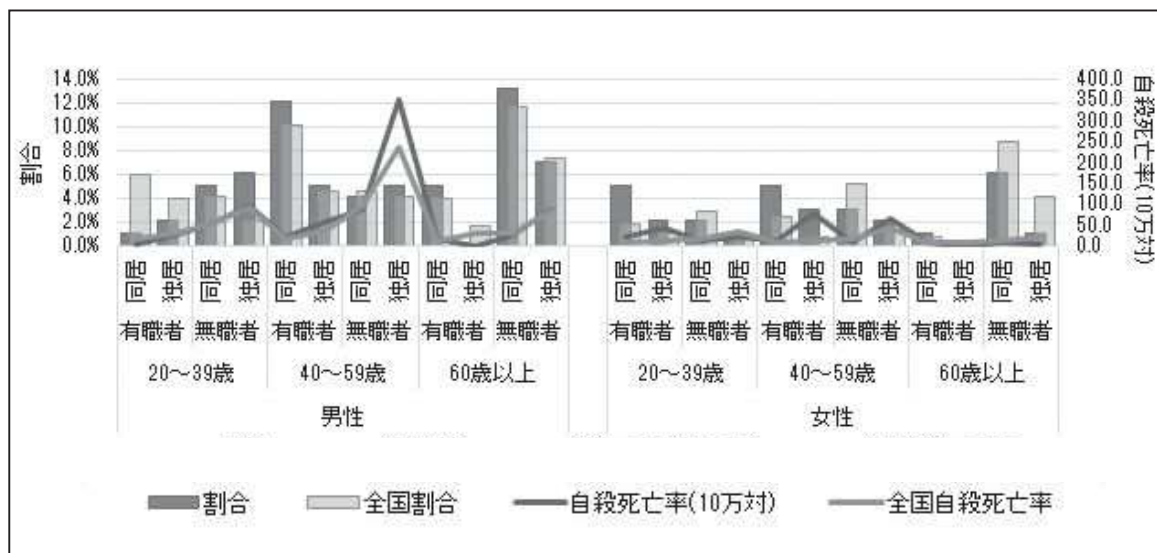
## 2 | 江別市における自殺の特徴

### (1) 主な自殺者の特徴 (平成29年から令和3年合計)

自殺者の特性 上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合	自殺死亡率 (10万対)	背景にある主な 自殺の危機経路
1位： 男性60歳以上無職同居	13	13.1%	27.0	失業(退職)→生活苦+介護の 悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2位： 男性40～59歳有職同居	12	12.1%	20.4	配置転換→過労→職場の人間 関係の悩み+仕事の失敗→う つ状態→自殺
3位： 男性60歳以上無職独居	7	7.1%	86.0	失業(退職)+死別・離別→うつ 状態→将来生活への悲観→自殺
4位： 男性20～39歳無職独居	6	6.1%	93.7	①【30代その他無職】失業→生 活苦→多重債務→うつ状態→自 殺/②【20代学生】学内の人間 関係→休学→うつ状態→自殺
5位： 女性60歳以上無職同居	6	6.1%	7.6	身体疾患→病苦→うつ状態→ 自殺

資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）にて特別集計区分の順位は自殺者数の多い順で、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順

## (2) 自殺者の年代別、同居者の有無、職の有無による割合 (平成29年から令和3年合計)

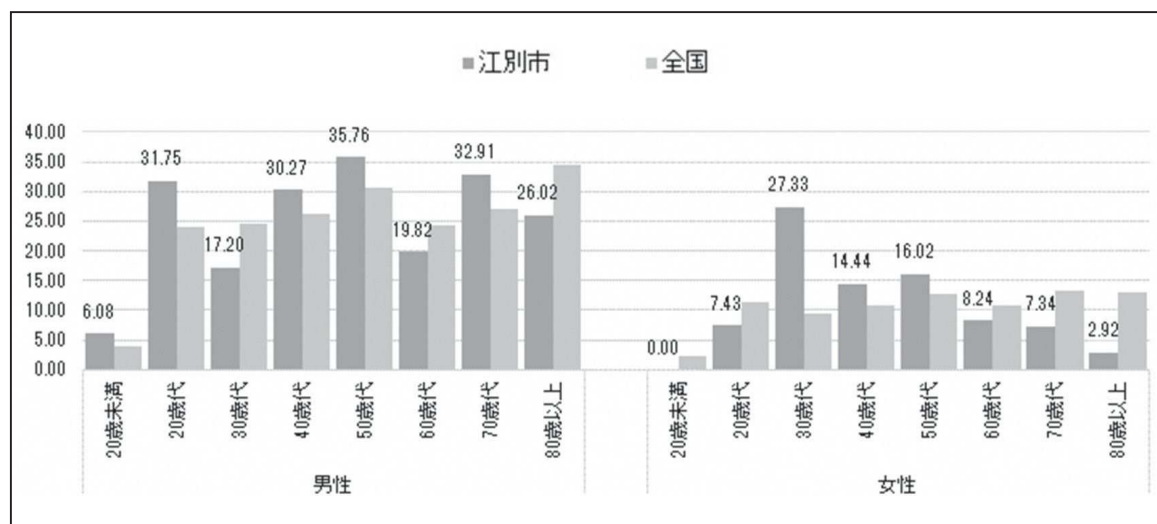


資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）にて特別集計

(1)、(2)の資料から、男女ともに「60歳以上・無職者・同居」の割合が高いことがわかります。

また、男性は「40～59歳・有職者・同居」の割合が高いこともわかります。

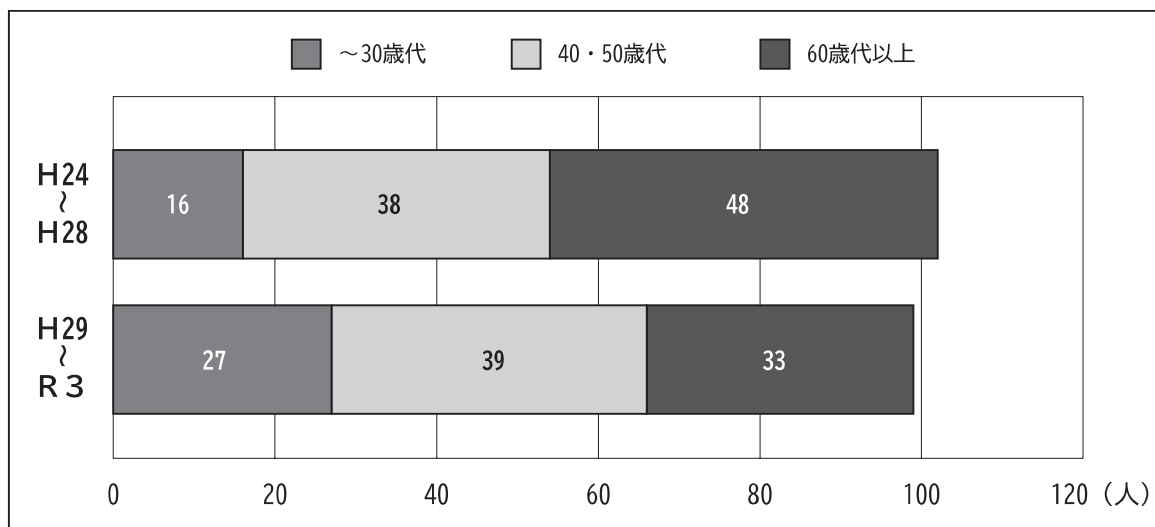
## (3) 性・年代別の平均自殺死亡率（人口10万対） (平成29年から令和3年合計)



資料：いのちを支える自殺対策推進センター（JSCP）作成の地域自殺実態プロファイル2022より

男女ともに働き盛りの40歳代、50歳代の自殺死亡率が国よりも高くなっています。また、男性は70歳代以上の自殺死亡率が高いことがわかります。

#### (4) 年代別自殺者数



厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」に基づき江別市保健センター作成

平成24年から平成28年までの5年間に比べ、平成29年から令和3年までの5年間では、30歳代までの若年層の自殺が増えています。

(3) 性・年代別の平均自殺死亡率（人口10万対）のグラフでは、男性は20歳未満と20歳代、女性は30歳代の自殺死亡率が国に比べて高いこともわかります。

江別市には4つの大学があり、約1万人の学生が通学していることから、学生の自殺予防対策に注力する必要があります。

### 3 | 江別市における自殺対策の課題

- ① 働き盛りの自殺割合が高い／男性は高齢者の自殺割合が高い
- ② 無職者・失業者の自殺率が高い
- ③ 若年層の自殺が増えている